

消費者余剰と生産者余剰

外部効果のない完全競争市場均衡の供給量は、消費者余剰と生産者余剰の和である社会的総余剰を最大化する。

I. 消費者余剰

A. 一個人、または一家計の消費者余剰

1. 需要曲線の意味
 - a. 消費財の限界評価： 追加 1 単位の価値
 - b. その追加 1 単位を得るために進んで支払おうとす最大限の価格
2. 限界評価と市場価格の差の総和

B. 市場全体の消費者余剰： 個別家計の消費者余剰の市場全体での総和

1. 市場の需要曲線
 - a. 個別家計の需要量の変化
 - b. 家計数の変化
2. (市場の需要曲線の高さ - 市場価格の高さ) × 供給量

II. 生産者余剰

A. 一企業の生産者余剰

1. 供給曲線 (限界費用曲線) の意味
 - a. 生産物の追加 1 単位に掛かる追加費用
 - b. その追加 1 単位の供給に必要な最小限の収入
2. 市場価格と限界費用の差の総和 (収入 - 可変費用 = 利潤 + 固定費用)

B. 市場全体の生産者余剰： 個別企業の生産者余剰の市場全体での総和

1. 市場の供給曲線
 - a. 個別企業の需要量の変化
 - b. 企業数の変化
2. (市場価格の高さ - 市場の供給曲線の高さ) × 供給量

III. 社会的総余剰の最大化

A. 社会的総余剰

$$\begin{aligned} & \text{消費者余剰} + \text{生産者余剰} \\ &= (\text{市場の需要曲線の高さ} - \text{市場の供給曲線の高さ}) \times \text{供給量} \end{aligned}$$

B. 完全競争市場の均衡での社会的総余剰

1. 均衡点
 - a. 消費者の限界評価 = 生産者の限界費用
 - b. 社会的総余剰： 需要曲線と供給曲線に挟まれる部分の面積
2. 供給量が均衡の供給量と異なる場合との比較： 厚生損失 (死荷重) の発生
 - a. 供給量が均衡の供給量より小さい場合
消費者の限界評価 > 生産者の限界費用
供給量が増えると社会的総余剰が増える。

- b. 供給量が均衡の供給量より大きい場合
消費者の限界評価 < 生産者の限界費用
供給量が減ると社会的総余剰が増える。

IV. 社会的総余剰が最大化されない市場（ミクロ経済学 で学ぶ問題）

- A. 不完全競争市場
- B. 外部効果のある完全競争市場

参考文献

教科書：第 5 章第 3 節，82–83 ページ，第 7 章第 2 節，115–116 ページ，第 9 章第 1 節，131–133 ページ。